

平成30年度松阪撫子展示会のご案内

2018年5月10日

松阪三珍花保存会

1. 松阪三珍花保存会「平成30年度松阪撫子展示会」

日時 2018年5月18日(金)～5月22日(火) 午前9時～午後4時

場所 松阪市殿町1563 旧松阪公民館前庭

(お問い合わせ先 松阪市幸公民館 電話0598 23-9549)

展示内容 各種松阪撫子 5号鉢 約200鉢

2. 松阪三珍花保存会有志による「松阪撫子展示」

日時 2018年5月24(水)～5月27日(日)

(展示日時、時間、展示内容は展示場所により異なる場合がございます。)

展示場所

①松阪市歴史民俗資料館

②本居宣長記念館

③松阪商人の館

④原田二郎旧宅

⑤松阪撫子発祥の地 松阪市殿町1257 山田大路(ようだおおじ)さん宅

展示内容

各種松阪撫子 5号鉢 10～20鉢

松阪撫子 (Matsusaka Dianthus)

松阪生まれの松阪撫子は一般には伊勢撫子(イセナデシコ)とよばれ、江戸の町でもてはやされ京都宝鏡寺では今でも御所撫子として残っているとの事です。今はネット販売で手に入れられるようです。

松阪撫子を初めて作出したのは、今から約200年前、松坂(松阪)殿町に住んでいた紀州藩士の継松栄二が河原撫子(大和ナデシコ)を栽培していたところ、偶然にも花卉が深く切れて縮れ垂れ下がった花を見つけ、その後実生により改良を加えた結果、今の品種を作出したと伝えられています。松阪地域では門外不出として守られてきた歴史があります。その後の研究で伊勢(松阪)撫子は同じナデシコ属に属するセキチク(石竹)と河原撫子との雑種に起源するとの説もあり松阪撫子の由来については更なる解明が必要です。

松阪撫子は四季咲性ですが保存会では、9月中旬頃種を播き、5月咲きとしています。花卉の性質には「花卉の肩が張って垂れる」「花卉の肩が張らずに垂れる」などありますが、何れも垂れ下がりが長いものほどよいとして保存してきました。花色は、白、濃淡ピンク、藤、紅、赤など多彩で、ぼかしや絞り模様が出る事もあります。仕立て方は3本仕立ての天地人作りとし、1本に5花、計15花を基本とします。

<松阪三珍花保存会への入会のおすすめ>

あなたも「松阪撫子」「松阪花菖蒲」「松阪菊」を作ってみませんか！

『松阪三珍花保存会』について詳しいことをお知りになりたい方は、お近くの会員にお気軽にお声をおかけ下さい。または下記にご連絡下さい。

松阪三珍花保存会連絡先

会長 北村守彦

TEL 0598-26-6812

副会長 中田邦雄

E-mail knakata@mctv.ne.jp

松阪三珍花のホームページ

<http://www.matsusaka-sanchinka.jp/>

ご覧ください。